



11/28  
(日)

### 南地区コミュニティ運営協議会 つなごう50周年「50周年みんなでウォーキング」

昭和46年に南地区がモデルコミュニティの指定を受けて50年を迎え、記念行事を行いました。

当日は雲ひとつ無い秋晴れで、参加者は各公民館から牛頸ダムを目指し、紅葉を眺めながらウォーキングを楽しみました。

記念イベントでは、コミュニティの50周年を祝い、来年の市制50周年へつなげる想いを込めて「50」の人文字をつくり、ドローンで記念撮影をしました。

最後はコミュニティ運営協議会会長から市長へ、50周年をつなぐタスキが手渡されました。



12/1  
(水)

### 寄附金感謝状贈呈 コーユーレンティア株式会社

コーユーレンティア(株)から、企業版ふるさと納税による寄付を受けました。この寄付金は、同社による地域貢献活動の一環として、企業版ふるさと納税制度を通じて行われています。

猪腰九州支店長は、「大野城市のまちづくりに活用していただきたい。」と話し、井本市長は、「市を代表して感謝します。市制施行50周年を迎え、これから企業との連携を深めながら、ますます魅力あるまちづくりを進めていきたい。」と述べました。

市では、この寄付金を、心のふるさと館での企画展など、多くの人に市の魅力を発信する事業に活用していきます。



12/11  
(土)

### 紡ぐ 多様なかたちで繋がる心 祝！大野東中学校創立50周年記念式典

令和2年に50周年を迎えた大野東中学校。創立50周年を祝う式典が、コロナ禍により1年延期して、体育館で行われました。

式典では、卒業生へのインタビューをまじえながら、これまでの大野東中の歩みが紹介されました。その後、生徒代表が「未来への誓い」を述べ、これまで紡いできた歴史を受け継ぎ繋げていくことを宣言。全校生徒で作った記念のレジンレリーフと屏風も披露され、歴史の節目を迎えた喜びを感じられる一日となりました。



## 大文字



「大野城市といえは？」と聴かれたら何を思い浮かべますか。

東京のような大都市ではありませんが、「ものさし」を変えれば、たくさんのお宝があります。

私の場合、**【ヒト】**(家族、幼馴染、友人、ご近所さん、職場)、**【モノ】**(地元で獲れた農産物、操業100年の原料にこだわった

かりんとう、美味しい豚まん・唐揚げ・お菓子、自然豊かな公園や遺跡、アーティストによる

手作り雑貨)、**【コト】**(まつり、スポーツ、春夏秋冬のイベント、数々の思い出)があり、さまざま

な記憶が思い巡ります。

KBCふるさとWish大野

城市では、鶏ほっかけの普及活動に取り組む「ぼっかけ隊」と

大野ジョーに協力してもらい、ポスターを制作し、走るテレビ

CMでは、各分野で元気に活躍している人達にご出演いただきました(番組の放送終了後もイ

ンターネットで視聴できます)。

今年市制施行50周年。イベントや街角で市職員が取材協力

をお願いする際は、どうぞ「とびっきりの笑顔」で、撮影にご

協力をお願いします。

©